

地方創生関係交付金および地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)活用事業(令和3年度実施事業)進捗状況

No	種別	交付対象事業		本事業における重要業績評価指標(KPI)および実績 (上段:指標、下段:実績)							令和3年度の進捗状況の説明	結果(計画期間終了事業分)、現状分析、課題と対応等	担当部局 (担当課所室)			
		国への申請事業名 (事業費)	事業概要	開始前	R1増加分	R2増加分	R3増加分	増加分累計	開始前	R1増加分				R2増加分	R3増加分	R4増加分
1	推進交付金	世界に売り込め CoolAkita プロジェクト ・R3事業費【2自治体】27,979,355円(13,989,675円) 【県】27,399,100円(13,699,548円) 【秋田市】580,255円(290,127円) ()は交付金	【秋田港大型クルーズ船誘致等事業】クルーズ船の受入体制の強化(事業主体:秋田県、秋田市)	①加工食品・日本酒の輸出金額(地方創生交付金事業を活用して実施した商談会やハイヤー招聘等で成約した金額) ②クルーズ船寄港回数 ③クルーズ船内メニューへの県産食材販売金額	①600万円 ②15回 ③44万円	①200万円 ②11回 ③456万円	①200万円 ②3回 ③200万円	①200万円 ②2回 ③300万円	①600万円 ②16回 ③956万円	【輸出】 ○フランス・パリで秋田県産品を扱った物産展を開催した。 ○台湾で開催された国際食品展示会「フード台北」に出展し、県産品のPRを行った。 ○台湾現地スーパーやECで秋田県産品の販売とプロモーションを行った。 【クルーズ関係】 ○クルーズ船の安全・安心な受入に向けて、秋田港において水際対策訓練等を実施した。 ○感染症収束後の寄港回復に向けて、船社等招聘事業を実施した。 ○外航クルーズの運航再開の見通しなどについて、クルーズ船社を講師に迎え、セミナーを開催した。 【船内メニューへの県産食材販売】 ○東京での商談会を企画し、県産食材の販路拡大を目指したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、中止となった。	交付金活用事業の計画期間終了 【結果】 ①達成 ②未達成 ③未達成 【総括】 ○新型コロナウイルス感染症の影響で、渡航して現地での商談会や展示会を開催することは困難になったが、代わりにオンラインを活用した商談会等を開催して目標指標を達成することができた。 ○クルーズ船寄港回数については、新型コロナウイルス感染症の影響により目標を達成することができなかったが、港における水際対策訓練等を実施し、受入再開に向けた準備に取り組んだ。 ○クルーズ船内メニューへの県産食材販売については、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年以降全ての事業を中止することとなり、目標を達成できなかった。 【今後の展開】 輸出については、日本酒を中心に堅調に輸出額を伸ばしてきた。今後は稲庭うどんや発酵食品等の加工食品の輸出拡大にも力を入れていきたい。 感染症収束後のクルーズ船の寄港回復を図るため、関係機関等と連携しながら魅力的なコンテンツ等をクルーズ船社や旅行会社へ売り込み、クルーズ船寄港による地域経済の活性化に繋げていく。	観光文化スポーツ部(観光振興課)				
2	拠点整備交付金・推進交付金	創業支援拠点整備事業 【参考】 ・総事業費【拠点整備交付金(ハード)】37,950,000円(18,975,000円) 【推進交付金(ソフト)】1,626,306円(813,153円) ()は交付金	【中小企業振興基本条例推進事業(創業支援拠点整備事業)】 秋田市中心市街地活性化基本計画の区域に存する空きテナントを賃借の上、秋田市創業支援拠点施設「チャレンジオフィスあきた」を移転整備し、同施設に創業支援室、コワーキングスペース、ビジネス書籍を置く起業家交流室を整備する。	①開業率(年間法人市民税新規納税義務者数/前年度法人市民税納税義務者数) ②施設における創業件数 ③施設における創業相談件数	①3.8% ②4件 ③60件	①0% ②0件 ③0件	①0.4% ②3件 ③40件	①0.2% ②1件 ③10件	①0.2% ②1件 ③10件	①0.2% ②1件 ③10件	①0.2% ②1件 ③10件	①0.2% ②1件 ③10件	①1% ②6件 ③70件	施設内に設置した起業家交流室やコワーキングスペース等を活用し、常駐するインキュベーションマネージャーによる支援や起業家の交流、育成を行い、創業件数の増につなげた。 また、創業支援拠点の認知度を高めるため、新たに金融機関に対し、来店した相談者へ創業支援拠点のPRを依頼した。	【現状分析】 目標達成に向けた課題あり 【課題と対応等】 令和2年度は、4月に創業支援拠点施設「チャレンジオフィスあきた」を土崎から中心市街地に移転し、立地環境等の創業環境が向上したことで開業率等の増加につながったものの、令和3年度以降は、特に新型コロナウイルス感染症の影響により、副業やPCがあれば自宅でできるようなスモールビジネスなど、社会変容に応じた様々な起業形態が増加し、施設を活用した事業の機会が減少している。 今後は、施設のPRを強化するとともに、施設を拠点とした創業支援事業の更なる展開により、開業率や施設を活用した創業件数等の向上を図っていく。	産業振興部(商工貿易振興課)
3	推進交付金	ビジネススタートアップ支援事業 ・R3事業費11,153,500円(5,576,750円) ()は交付金	創業支援拠点施設「チャレンジオフィスあきた」を主会場に、起業に向けたプロセスを交流・育成・起業・成長の4つのフェーズに分け、各フェーズに応じた支援プログラムを切れ目なく実施することにより、多くの起業家を創出・育成する。 1 交流フェーズ:学生や社会人等の交流支援など(毎月のセミナー開催/起業家対談や大学生向け交流イベント等) 2 育成フェーズ:起業を志す仲間との起業学習支援など(ワークショップ/ビジネスコンテスト向け勉強会/起業スクール開催等) 3 起業フェーズ:開業に向けた準備支援など(事業計画作成/クラウドファンディングプレゼン大会/資金調達相談会/開業相談等) 4 成長フェーズ:開業後のフォローアップなど(経営コンサルタント派遣/融資斡旋等の事業拡大/ファンドによる支援)	①開業率(年間法人市民税新規納税義務者数/前年度法人市民税納税義務者数)(%) ②創業支援拠点施設における創業件数(件) ③創業支援拠点施設における創業相談件数(件) ④各フェーズにおけるイベントやセミナー等への参加者数(人)	①4.16% ②1件 ③69件 ④70人	①0.10% ②6件 ③40件 ④3,230人	①0.20% ②8件 ③50件 ④855人	①0.30% ②10件 ③50件 ④3,305人	①0.60% ②24件 ③140件 ④7,390人	秋田市創業支援拠点施設「チャレンジオフィスあきた」の起業家交流室を主会場に、新たな起業家の掘り起こしや起業に関心のあるかたの交流促進および育成を行った。 また、新たに大学の創業関係者を通じて学生へイベント・セミナーのチラシを配布した。 【開催したイベント】 1 交流フェーズ AETa(起業家による対談)やスタートアップセミナー、読書会を交流会と併せて行い、起業家等の交流促進を図った。 2 育成フェーズ ビジネスコンテストのためのウォームアップ・セミナーや「武器別」ワークショップ、起業家大学「G-College」、および個別相談を通じて起業家の育成を図った。 3 起業フェーズ ビジネスチャンス交流セミナー、あんどカフェ(テーマに沿った語り合い)、アクセラレーションスクール(起業に関する講義・演習)を行い、起業家を支援した。	【現状分析】 目標達成に向けた課題あり 【課題と対応等】 No.2の記載内容に加え、イベントやセミナーにおいては、同感染症の影響を受けイベントやセミナーへの参加控えが続いている。 チャレンジオフィスあきたを拠点とした創業支援事業の展開や、大学の創業関係者等を通じたイベント・セミナーのチラシ配布など創業に関心の高いかたに向けた効果的なPR等を行い、目標達成に向けて取り組んでいく。	産業振興部(商工貿易振興課)				
No	種別	寄附活用事業名	事業概要	重要業績評価指標	達成に寄与する第2期総合戦略の基本目標	計画開始時点(R1)	R2実績	R3実績	目標値(R6)	実施状況	事業の検証	担当部局(担当課所室)				
1	応援税制	「東北絆まつり2022秋田」開催準備経費 ・R3事業費15,621,856円 ・寄附企業あおいニッセイ同和損害保険株式会社 ※金額非公表	「東北絆まつり2022秋田」の本市開催に向けた、先催市との情報交換や実行委員会の引き継ぎのほか開催準備を行う。 ※「東北絆まつり」は、東北各県を代表する祭りを集合開催した「東北六魂祭」を継承したもので、復興に向かう東北の元気な姿を引き続き発信していくことを目的に、東北6市の持ち回りにより開催しているまつり。	市外への転出超過の改善 転入者-転出者 ※企業版ふるさと納税のKPIについては、第2期秋田市総合戦略の基本目標のKPIを準用している	基本目標3 多様なつながりを築き、秋田市への新しいひとの流れをつくる	-411人	76人	27人	-246人	「東北絆まつり2022秋田」の本市開催に向けた、先催市との情報交換や実行委員会の引き継ぎのほか開催準備を行った。 【スケジュール】 令和3年7月 東北絆まつり担当設置 令和3年12月 観光振興課に実行委員会事務局を設置(山形市から移管) 令和4年2月 実行委員会総会	本事業により、県内外から約11万人が来場した東北絆まつり2022秋田(令和4年5月28日、29日の2日間)の円滑な開催につなげることができた。 同イベントは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大以降、本市で開催する初めての大規模なイベントであり、市民や来場者などの安全・安心を確保するため、各会場で検温や手指消毒を実施したほか、パレードの観覧を事前申込とするなど、感染防止対策を講じた。 引き続き、関係団体等との連携を図りながら、感染防止対策に万全を期した上で、イベント等を開催し、交流人口や関係人口の創出拡大に取り組んでいく。	観光文化スポーツ部(観光振興課)				